

信州のみち



豊かな地域づくりをめざして



巻頭言

道路ネットワークの確実な構築

長野県道路整備期成同盟会 会長 佐々木祥二

1

時の話題

中部横断自動車道（長坂～八千穂）について

長野県建設部 道路建設課

1

全国道路利用者会議第73回全国大会の長野県開催

全国道路利用者会議第73回全国大会実行委員会事務局

2

国道151号 下條村 粒良脇トンネル

供用箇所の紹介

国道151号 県内区間全線2車線開通

一般国道151号(飯田～豊橋)改良促進期成同盟会

副会長 飯田市長 佐藤 健
阿南町長 勝野一成
新野区長 佐々木清

3

国道151号 下條村粒良脇トンネル開通

下條村長 金田憲治
山田河内区長 飯嶋延和

3

主要地方道丸子信州新線 長野市大岡工区完成

長野市長 荻原健司
大岡地区住民自治協議会 元会長 中澤義忠

4

一般県道有明大町線 安曇野市～松川村鼠穴橋開通

安曇野市長 太田 寛
松川村長 平林明人

4

地域の道から

道の駅の紹介

和田宿ステーション、小坂田公園、安曇野松川

5

日本風景街道の活動状況

信州ピーナスライン茅野、千曲川・花の里山風景街道

6

道路事業功労者表彰

小海町 24 会、双葉公園と周辺を美しくする会、伊那市中央区

6



道路ネットワークの確実な構築

長野県道路整備期成同盟会 会長 **佐々木 祥二**

長野県内道路の整備改良の促進を目的とする本同盟会の活動に対しまして、日頃より深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年10月には、全国道路利用者会議の73回目となる全国大会を、実に25年ぶりに長野県で開催することができました。全道利の古賀会長や国土交通省の丹羽道路局長をお迎えし、全国から多くの自治体関係者・ユーザーを集めたこの大会は、本同盟会として準備を進めてきたものであり、3コースの道路視察を含め盛会のうちに終えることができました。お力添えをいただいた会員の皆様にあらためて御礼申し上げます。

また、5月の「命と暮らしを守る全国大会」、11月の「安心・安全の道づくりを求める全国大会」にあわせて実施された要望活動には、多くの県内市町村長の皆様に御参加いただき、全道利全国大会の県内開催も相まって、長野県内の道路整備の機運を大いに高めることができたと考えております。

さて、最近「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間後の新たな財源確保、資材価格の高騰への対応等が課題となっており、道路整備に要する予算の十分な確保に向けて引き続き取り組んでいく必要があります。

こうした中、国の令和6年度道路関係予算において、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく取組を加速化・深化させるため、令和5年度補正予算と合わせて、重点的かつ集中的に対策を講じる財源が確保されたことは、道路整備に対する我々の強い思いが反映されたものであり、ありがたく感じています。

今後は、こうした財源も有効に活用しながら、県土の骨格を形成する高規格道路から生活に密着した市町村道に至るまで、県内の道路ネットワークを確実に構築していくことが重要と考えています。

本同盟会では、災害に強い道路整備と、道路施設の老朽化対策が着実に推進できるよう、要望活動や広報活動に努めてまいりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

長野県建設部 道路建設課

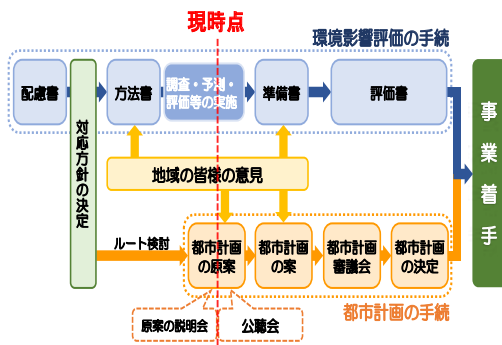
中部横断自動車道(長坂～八千穂)について

中部横断自動車道は、静岡県静岡市から長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

唯一の未整備区間となっている長坂～八千穂(約40km)については、令和5年7月に国土交通省から長野・山梨両県へルート(事業予定者案)の提供がありました。これを受け、長野県では、関係機関と連携して環境影響評価及び都市計画の手続きを進めております。



中部横断自動車道 長野県区間(山梨県境～八千穂高原IC 約28km)のルート案



環境影響評価及び都市計画の手続きの流れ

全国道路利用者会議第73回全国大会の長野県開催

令和5年10月19日、長野市のホクト文化ホールにおいて、「全国道路利用者会議第73回全国大会（臨時総会）」が開催されました①・②。

全国各地から関係者約700名が参集し、国土交通省の丹羽克彦道路局長③、阿部守一長野県知事④、荻原健司長野市長⑤、地元選出国議員など来賓が多数出席する中で、道路整備に関する意見発表⑥、役員等の一部改選等が行われ、道路整備・管理が長期安定的に進められることなどを求める大会決議⑦が採択された後、大会は成功裏に閉会となりました⑧。

大会に続いては、俳優・タレントの峰竜太さん⑨を講師に迎え講演会を開催、その後、県外からの参加者は、3コースに分かれて道路視察に出発しました。

今回の大会の準備は、実行委員会主催の前日のレセプションを含めて、同盟会を母体とする実行委員会が担いました。また、当日は県内から多くの皆さんにご参加をいただき、「防災・減災、国土強靱化」の予算・財源の確保が課題となる中で県内の道路整備促進の機運を大いに高める機会となりました。

実行委員会の役員の皆様、大会の開催に関わっていただいた皆様に、あらためて御礼申し上げます。



①開会の辞 実行委員会(同盟会)役員
佐々木会長(県議会議長)



②古賀全道利会長による
主催者あいさつ



③来賓あいさつ
国交省 丹羽道路局長



④来賓あいさつ
阿部長野県知事



⑤来賓あいさつ
荻原長野市長



⑥意見発表 実行委員会(同盟会)役員
佐々木副代表理事(佐久穂町長)



⑦決議文朗読 実行委員会(同盟会)役員
白鳥副代表理事(伊那市長)



⑧閉会の辞 実行委員会(同盟会)役員
中島副会長(県バス協会会長)



⑥大会の様子(意見発表)



⑨講演会の様子
講師：峰竜太氏(下條村出身)



国道151号全線 2車線開通に寄せて

一般国道151号（飯田～豊橋）改良促進期成同盟会副会長
飯田市長 佐藤 健

一般国道151号は、飯田市を起点に愛知県豊橋市を結び、愛知県側と長野県側の人・物の広域的な交流を促進し、三遠南信自動車道、更にはリニア中央新幹線長野県駅へのアクセス道路としての機能を有します。

令和5年7月に新野拡幅工区が開通し、県内の当路線は全線2車線改良が完了しました。さらに12月には粒良脇トンネルが開通し、安全性の向上と円滑な交通が確保されることとなりました。いずれも当同盟会として長年要望してきた箇所であり、完成を心より感謝申し上げます。

当路線は、通勤通学等の日常生活に重要な路線であるとともに、救急及び災害時の唯一の生命線の道路となっており、地域住民の安全安心が確保され、さらに観光面においても大いに期待されます。

これまでの事業推進にご支援・ご協力を賜りました全ての関係の皆様に改めて感謝申し上げます。



悲願の全線2車線化

阿南町長 勝野 一成

本町を縦断する一般国道151号は、阿南町富草地区から新野地区を結ぶ約26kmの主要幹線道路です。

本町においては、昭和49年頃から富草地区で改良工事が開始され、そこから約50年の年月を経て、ついに全線2車線化工事が完了しました。本町は急峻な地形のため、橋梁が53橋、トンネルが10箇所あり、整備を進めるにあたりましては、大変なご苦労があったものと拝察いたします。これもひとえに多くの皆様のご支援とご協力の賜物と感謝申し上げます。

工事着手から半世紀が経過する中で維持修繕する箇所もございますので引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。町としましても、整備していただいた本路線を最大限活かして、これからのまちづくりを進めてまいります。



新野拡幅の完成に寄せて

新野区長 佐々木 清 様

長年望んでおりました一般国道151号の全線2車線改良、新野拡幅の完成を心より歓迎いたします。

改良された国道は、安全かつ円滑な交通を実現し、地元の経済活動の促進、住民の利便性向上に寄与するものと期待しています。

関係する多くの皆様のご尽力により完成を迎えることができましたことに地元区長を代表し、深く感謝申し上げます。



粒良脇トンネル開通に寄せて

下條村長 金田 憲治

一般国道151号粒良脇トンネルの開通に当たり、地権者の皆様、事業者の長野県始め関係各位の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

本トンネルは、本村を南北に縦貫する一般国道151号のほぼ中央に位置します。旧トンネルは昭和39年に供用開始されましたが、それまでは山肌を縫うように長い道のりでした。そこで開通当時、山田河内でバスに乗り遅れても、トンネルを抜ければ粒良脇で乗れると語られ、夢物語であったトンネル完成に村民一同が歓喜したとの記録が残っています。そのようなトンネルでしたが時代が経過する中で、老朽化や大型車のすれ違いが出来ず、交通のネック箇所として、早期拡幅改良を要望してきました。長野県は平成27年度に事業化を決断され、多くの関係者のご尽力により、この度、長年の悲願でありました新トンネルの完成・開通の運びとなりました。

このトンネルの開通により、時間短縮と交通の安心安全の向上が図られ、地域の振興に大きく寄与するものと、心から期待しています。



新粒良脇トンネル開通に寄せて

山田河内区長 飯嶋 延和 様

地域住民が長年待ち望んでいた粒良脇トンネルが令和5年12月に開通しました。関係された多くの皆様に地域住民を代表し厚く御礼申し上げます。

旧トンネルは、幅員も狭く大型自動車とのすれ違いは危険を感じておりました。新しいトンネルの開通により、交通の安心安全はもとより利便性も確保され、地域の発展に寄与するものと期待しております。



**主要地方道丸子信州新線
大岡工区完成に寄せて**

長野市長 荻原 健司

主要地方道丸子信州新線「大岡工区」の完成に当たり、御協力いただきました地権者の皆様、また、これまで事業推進に多大な御尽力をいただきました長野県をはじめ関係の皆様、深く感謝申し上げます。

主要地方道丸子信州新線は、大岡地域と長野自動車道麻績インターチェンジを結ぶ基幹道路として、また地域住民にとりましては、通勤・通学など日常生活に欠かせない重要な道路であり、「大岡工区」が完成したことで、狭隘箇所や急カーブが解消され、安全で安心な通行が確保されたことは大きな喜びであります。

交通環境が整備されたことにより、大岡地域の道祖神祭りなどの観光振興や広域的連携による地域経済の活性化に大きく寄与するものと期待しております。



大岡地区住民自治協議会
元会長 中澤 義忠 様

**主要地方道丸子信州新線
大岡工区完成に寄せて**

この程、主要地方道丸子信州新線の大岡工区(樺内~宮平区間)の改良工事が竣工し、地域一同大変喜んでおります。当工区は大岡中心部であり、改良部は県、市道の分岐および樋ノ口橋の架け替えを含む大規模なものでした。

大岡地区発展に欠かせない本工事の竣工は誠に意義深いものと感謝いたしますとともに、ご尽力戴いた関係各位に改めて感謝を申し上げます。



**一般県道有明大町線
鼠穴橋の開通に寄せて**

安曇野市長 太田 寛

一般県道有明大町線の穂高川に架かる鼠穴橋の開通にあたり、着実に事業を進めていただいた長野県をはじめ、関係の皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

安曇野市と大北地域を結ぶ本路線は、通称「山麓線」と呼ばれ、国営アルプスあづみの公園の堀金・穂高地区と大町・松川地区をつなぎ、また、「長野県一周サイクリングJapan Alps Cycling Road」のルートにも位置付けられており、地域の暮らしと観光を支える路線であります。

この度の開通により、地域を結ぶ南北軸の強化や交流の活性化が図られるとともに、安曇野市が推進しております自転車を活用したまちづくりにも寄与するものと期待しております。



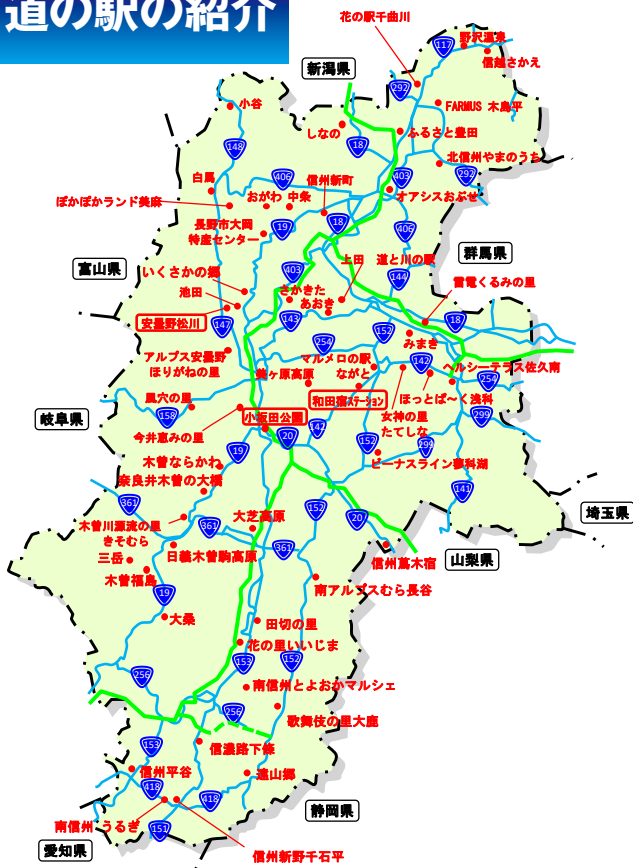
鼠穴橋の開通に寄せて

松川村長 平林 明人

一般県道有明大町線の穂高川に架かる鼠穴橋は、安曇野市と松川村をつなぐ地域の重要な架け橋として、また両国営アルプスあづみの公園にアクセスする主要路線として長きにわたり大勢の皆様にご利用されてきました。長野県建設部の皆様には、地域の声をしっかりと受け止めていただき、素晴らしい橋を架けていただきましたことに、心より御礼申し上げます。これまで以上に地域発展に大きく寄与するものと確信しております。地域のために貴重な用地をご提供していただきました地権者の皆様をはじめ、当事業に係われた全ての皆様に深く感謝申し上げます。



道の駅の紹介



和田宿ステーション (長和町)

国道142号線沿いに位置し、旧中山道宿場町として栄えた長和町和田地区は、現在も人々が行き交う重要な交通拠点です。「和田宿ステーション」は平成8年の開所以来、農産物直売所、食堂、駐車場、公共トイレを備えた施設として、長和町の南の玄関口の役割を担ってきましたが、授乳室、情報コーナーなどを新設し、より多くの皆さまに喜んでもらえる道の駅として令和5年



9月23日に開駅いたしました。週末には、歴史ある峠の力餅や地元の野菜を用いたおやき、おこわなどの郷土食が店内に並びます。

ぜひ一度お出かけください。



HPアドレス：<http://www.wadajuku-station.com/>

小坂田公園 (塩尻市)

長野自動車道・塩尻ICから南へ約1kmとアクセス性に優れた「塩尻市の玄関口」の道の駅であり、令和5年4月にリニューアルオープンしました。

リニューアルにより、駐車場の増設やトイレの改修を行ったことで利便性が向上したほか、既存のゴーカート場、自然博物館、マレットゴルフ場に加え、新たに遊具、噴水等を整備し、レクリエーション機能を充実させたことで、運転手はもちろん同乗者も疲れを癒すことができます。

また7月には、飲食物販店の「小坂田マルシェ790」が新たにオープンしたことで、地場産品を活用した食事や地元の農産物などの買い物ができるようになり、幅広い年代層が楽しめる道の駅になりました。

令和3年には、防災道の駅に認定されており、地域の防災拠点としての役割もあります。



HPアドレス：<https://osakada-park.jp/>

安曇野松川 (松川村)

道の駅「寄って停まつかわ」は、田園風景と北アルプスの山々が見渡せる北アルプスパノラマロード(県道306号)沿いに位置します。

EV充電スタンド、大型駐車場、新宿～白馬間の高速バス停留所を完備しており、多機能型の公衆トイレは令和4年に全面リニューアルされました。

また、地域農産物を中心とした農産物直売所や地元の食品や県内のお土産品、地酒など取り扱う売店の他、リーズナブルで美味しく気軽に利用できるレストランでは、1日20食限定「旨とろ丼」やカレー、ソースかつ丼などを提供しております。

ぜひ一度お出かけください。



HPアドレス <https://yottetei.jp/>

日本風景街道の活動状況

信州ビーナスライン茅野

●令和2・3年度 関東優秀活動賞（観光振興への寄与部門）受賞

活動名：信州ビーナスライン輝く道づくり（2020・2021）

●令和4年度 関東優秀活動賞（地域活性化への寄与部門）受賞

活動名：信州ビーナスライン輝く道づくり

信州ふるさとの道アダプトシステム事業「花三昧」

活動内容の紹介

ビーナスラインが県下No.1の観光道路となるよう、沿線の草刈りやゴミ拾い等の環境整備を実施し、施設の延命化を図るとともに、この地域を訪れる観光客や利用者にも気持ちよくご活用いただくこと、「ヒトとモノ、心をはぐくむ観光地磨き」を目的として活動しています。



信州ビーナスライン茅野 活動の様子

千曲川・花の里山風景街道

●令和2・3年度 関東優秀活動賞（特別賞）受賞

活動名：フラワーロード事業

活動内容の紹介

地域が全国に誇る里山の風景や沿道の花々によって彩られる「花街道（国道117号）」を中心に、美しい景観、豊かな自然を観光資源とした地域づくりとともに日本のふるさとを想わせる道路空間の創出を目的に活動しています。



フラワーロードの様子

「信州ビーナスライン茅野」「千曲川・花の里山風景街道」の他にも長野県内で様々な取り組みが行われています。長野県HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/michiken/infra/doro/joho/kaido12.html> にて詳しく掲載しておりますのでご覧ください。

道路事業功労者表彰

長野県道路整備期成同盟会総会（R5.8.30開催）において、道路事業功労者表彰を行い令和5年度は、3団体が受賞されました。

「小海町24会」様（小海町）

平成12年から、町道釜掛土村線小海トンネル東側の道路敷地内にある空き地にマリーゴールドやサルビアなどの花を植え手入れを行っているほか、周辺の県道及び町道の草刈りなどの美化活動も行っている。活動区域には、小海小学校の通学路が含まれることから、ボランティア教育にも役立っており、地域に大きく貢献しています。

「伊那市中央区」様（伊那市）

平成23年から、主要地方道伊那生田飯田線、主要地方道伊那辰野停車場線の植樹帯、花壇等の維持管理美化活動、沿線のごみ拾いを、子ども育成会や小学校児童、沿線の住民・企業等と連携して継続的に行っており、地域の景観づくりに大きく貢献しています。

「双葉公園と周辺を美しくする会」様（伊那市）

平成22年から、国道153号沿いの双葉公園から双葉神社までの維持管理美化活動、沿線のごみ拾いを継続的に行っており、地域の道路環境美化に大きく貢献しています。



事務局だより

*以下の行事を行いました。ご協力ありがとうございました。

総会 (R5.8.30開催)

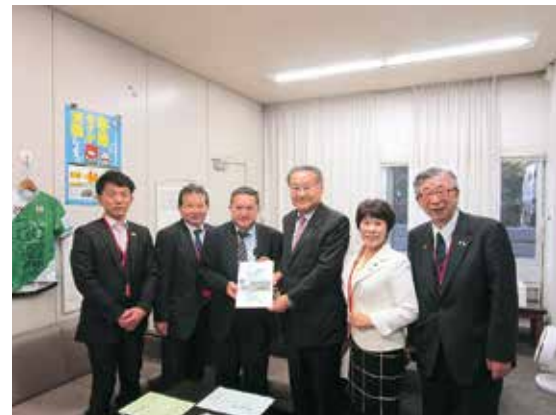


要望活動 (R5.11.8実施)

国土交通省



和田信貴国土交通事務次官



長谷川朋弘道路局官房審議官

国会議員



杉尾秀哉参議院議員



羽田次郎参議院議員



足立敏之参議院議員